

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	01	03	0403	幼児ことばの教室事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
ことばの表現能力に課題のある子どもの支援

《事業開始の背景》
ことばの表現能力に課題のある子どもに対して、早期発見、一人ひとりに応じた指導実施により、子どもが持っている能力を十分に発揮できるような支援が求められていた。

《事業概要》
○対象幼児及び保護者への指導
○保護者からの相談への対応
○「幼児ことばの教室」の周知
(案内リーフレットの作成と配布、保護者対象説明会の実施)

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)
① 指導終了幼児の割合	%	目標	85	85	
		実績	86	83	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
人づくり	教育部	こども課	牛崎 充人	9-30-342

事業費	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
	6,922				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,922			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【事業手法の詳細】

ことばに課題がある子ども

(該当児：5歳児80人/H25実績)

☆指導員による専門指導☆
(唄や遊びを通して舌・口の動きをレッスン)

非常勤指導員(3名、うち1名は言語聴覚士)を配置・全5歳児をことば検査
(指導対象児1人につき週1コマ：45分、概ね5月～11月まで)
指導場所：指導員が3カ所に分れて指導
①花巻小学校内空き教室で(通級指導員1名)
②児童在籍園のスペースを借りて(巡回指導員2名)

事業費6,922千円の内訳
○指導員3名の人件費(報酬・通勤・社保)6,181千円
○巡回指導に係る経費
自動車リース(2台)313千円
ガソリン代155千円
○その他(研修旅費、教材費、通信費等)273千円

気持ちを表現できる子ども

(課題克服児：66人/H25見実績)
※課題が残った児童は小学校(ことばの教室または特別支援学級)へ

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	01	03	0403	幼児ことばの教室事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	活力と特色ある学校教育の充実
	4		4-2	
目的	ことばの表現能力に課題のある子どもの支援			
対象	・ことばに関する課題のある就学前のこども			
意図	・正しい発音ができる等、子供が持っている能力を十分に発揮出来るようにする。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- 対象幼児及び保護者への指導
- 保護者からの相談への対応
- 「幼児ことばの教室」の周知
(案内リーフレットの作成と配布、保護者対象説明会の実施)

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① ことばの指導実施幼児数	人	計画	90	90	
		実績	91	80	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 指導終了幼児の割合	%	目標	85	85	
		実績	86	83	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

平成19年度から2名の指導員を配置し開始した幼児ことばの教室は、ことばに課題がある子どもの早期発見、一人ひとりに応じた指導の実施により、その後の就学や児童期の適切な言語発達に大切な役割を果たしている。平成22年度より、指導員を3名体制とし、よりきめ細かな指導体制で着実に実績を上げている。

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

小学校の養護教諭：ことばに問題のある子どもへの対応は、早期のきめ細かな対応により、より効果が上がる傾向がある。

目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	<p>ことばは、その後の教育を進める上で重要な要素であるが、公立、市立の保育園、幼稚園の体制での対応は難しいことから、公共的に市全域を対象として進める事により、より効果的な事業効果が期待出来る。</p>
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	<p>毎年、様々なことばの問題を抱えた子ども達への対応は、今後も継続されるべきものであるが、事業継続により、今後も成果が期待出来るが、現在、1人当たりの時間の制限があり、その部分を解消出来る体制が構築されれば、更なる効果が期待出来る。</p>
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	<p>適切な指導を実施するうえで必要最低限の経費である。</p>
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	<p>全年長児童を対象に検査希望を案内しており、受益機会は公平である。</p>

《総合評価》…上記評価結果の総括

ことばに課題のある子どもを早期に発見し、正しい発音や子どもが持っている能力を發揮できるようにするため、一人ひとりに応じた指導を実施したことにより、幼児の正しい発音・発語が改善され言語表現力が向上した。
 また、継続児童の幼児については、小学校の「ことばの教室」に、これまでの指導内容を円滑に引継ぎした。